

ふたば 広報

双葉苑敬老会

先月号で少し紹介しましたが、九月一七日(日)、猿楽師の筑豊大介さんをお迎えし、双葉苑敬老会が行われました。日頃、なかなか見ることができない大介さんと猿の熱のこもった演技に入所者様は大喜びで、楽しいひと時を過ごすことができました。



大ホールの特設会場で
行われた双葉苑敬老会。
昨年に引き続き、筑豊大
介さんの猿回しが披露
された。



入所者様には笑顔が満ち溢れていました。



還暦を迎えた職員さん
も登場。これからも
頑張ってください。

ふたばよもやま話 (第十回)

～平尾台(平尾台)と奇祭～

小倉南区の自慢の一つに平尾台があります。全国的にも有名なカルスト地形で、大平原と鍾乳洞が特徴で今からが一番いい季節です。高原にはススキが風に揺れ、青空とのマッチは最高です。

また地下には貴重な鍾乳洞があり、多くの方が訪れます。平尾台のもう一つの文化が井手浦地区の尻振り祭という奇祭で、出雲の国で八岐大蛇(ヤマタノオロチ)が大暴れして、須茂鳴尊(すさのおのみこと)が退治したとき、尻尾が平尾台の麓の井手浦まで飛んできて、その年は10数年ぶりの大豊作になったという伝説に因んだ祭りで、春の農作業を始める1月8日に行われます。



お尻を大きく振るほど豊作になると言われている奇祭、井手浦尻振り祭り

職員紹介コーナー
見た目通り、穏やかで心遣いのできる看護師の宮久 操さんです。宮久さんは利用者様はもちろん、スタッフにも優しく、安心感を与えてくれる存在です。長年の病院勤務を経て、当苑が初めての施設勤務となります。しかしながらすぐに業務にも慣れ、医務室はもちろん、苑全体にとっても頼りになっています。宮久さん、お体に気を付けて、今後も皆様に安心を与える大きな存在となってください。



看護業務をこなすと共に食事介助をする宮久さん

土・日・祝の面接対応は当面の間、ご遠慮いただきますよう、よろしくお祈りします。
また当苑へのお心遣いは一切お断りしております。
お気持ちだけありがたく頂戴いたしますのでご理解いただけますよう重ねてお願いいたします。

今月の予定 (11月)

- 小倉北歯科回診 (毎木曜日)
2日、9日、16日、30日
- 石橋医院回診 (毎月曜日)
6日、13日、20日、27日
- 防火避難訓練 (夜間想定)
8日 (水曜日)
- ますゆき皮膚科回診
9日 (木曜日)
- 健康体操 (隔週木曜日)
9日、23日
- ビューティヘルパー
14日 (火曜日)
- 生花
22日 (水曜日)

【編集雑記】

▼桃太郎の話を知らない人はいないだろう。桃から生まれた男の子が、申(サル)、酉(トリ)、キジ、戌(イヌ)を連れ、鬼退治に行くというという物語である。▼鬼を想像してほしい。牛のような角を持ち、虎柄の腰巻を身につけている。「丑寅」の方向は鬼門、つまり鬼(災い)が来る方向と言われることから描かれた姿である▼桃太郎の家来であるサル、トリ、イヌは何れも鬼門に対して恵方(恵方)とい、縁起のいい方向と言われている。つまり災いを制するのは、この三者でなければ成り立たないわけである▼古代中国では、奇数の重なる日は、忌み嫌う日(逆の説もある)という考えがあり、その頃一番霊力の高い植物を魔除けとした。一月一日は松、三月三日は桃、五月は菖蒲、七月は笹、九月は菊で重陽の節句と言われる具合だ。十一は一と一を足すと偶数になるので、節句とはならない▼桃太郎の話も節句も、風水、陰陽道の思想から生まれた発想で、鬼退治の主役は、桃でないこと成り立たないことなる▼古来中国では桃は「霊果」と言われ、魔除けには最高のアイテムとなる。このように何気なく聞いている昔話や、行事、言い伝えには深い関連がある事が多い。これらは利用者様との雑談の中で思い出した事の一つであり、利用者様の何気ない行動や昔話の中にも今に伝わる深い意味がある事を改めて感じた。